

宇治久世 認知症懇話会 -初期集中支援事業を考える-

共催：宇治久世医師会/武田薬品工業株式会社

ADI（国際アルツハイマー協会）の国際会議が京都で2017年4月27日から29日まで開かれ、認知症の人と地域に焦点を当てた講演やシンポジウムが行われます。この会議を契機に認知症に対する市民の認識がさらに見直され、認知症ケアが進むことが期待されます。また宇治では、平成30年には認知症総合センターの運営開始が予定されています。この年は地域支援事業での医療介護連携・在宅医療推進の開始年でもあり、認知症地域ケアが新しい段階を迎えると言って良いと思います。

今回の認知症懇話会では事業内で行われるチーム員会議を模して、「拡大版初期集中支援・チーム員会議」を開き、皆様に体験していただきます。当日提供される事例を認知症ケアパス情報共有シート、DASC（地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート）、ZARITなどを使ってチーム員会議を体験する会です。多くの皆様の参加で幅広いディスカッションができることを期待しています。

参加はかかりつけ医、病院勤務医だけではなく認知症地域ケアにご興味のある専門職であれば歓迎です。

在宅医療担当理事 門阪 庄三

日時

2017年 3月 4日（土） 18:00～20:00

場所

宇治市産業会館（宇治商工会議所）3階

講演

拡大版 「宇治市初期集中支援チーム員会議を体験しよう」

司会

かどさか内科クリニック 門阪 庄三 先生

演者

**京都府立洛南病院（宇治市認知症初期集中支援チーム専門医）
森 俊夫 先生**

宇治市認知症コーディネーター 松本 敬子 氏・野々村 輝貫 氏

下記申込書にご記入いただき、**2月28日（火）**までに、宇治久世医師会医療介護連携推進事務局（FAX:0774-24-8761）までお申し込みください。

【参加申込書】

班(医師会員のみのみ)・所属機関	ご氏名

宇治久世医師会医療介護連携推進事務局（担当：太田・滋野・隅垣）

FAX：0774-24-8761